

令和6年度卒業証書授与式・修了証書・学位記授与式告辞

国立高等専門学校機構 都城工業高等専門学校

5年間の教育課程を終えられた本科5年生の皆さん、それから、専攻科の修了と同時に学士の称号を得られた専攻科修了生の皆さん、それぞれご卒業と修了おめでとうございます。

また、今日までご子息ご令嬢様の成長を見守られましたご家族、保護者の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。

そして、本日、ご列席いただきました都城市総括副市長 吉永 利広（よしなが としひろ）様はじめご来賓の皆様には、ご多忙な中、誠にありがとうございました。

本日、卒業生修了生は、また新たな人生の舞台に向かって飛び立ちます。どうか、都城高専を卒業、修了したことに自信を、そして、お世話になった方々への感謝の念を持って、次なる人生のステージを邁進してください。

5年間、あるいは7年間、皆さんには青春を賭け全力で研鑽を積んでいただきましたが、高等教育機関として、至らない点やご心配ご迷惑をおかけした点もありましたことをお詫び申し上げます。

さて、今から5年前、あるいは7年前、皆さんが本校に入学したのは2018年から2020年ですが、2019年には元号が平成から令和に変わりました。当時の大きなニュースとしては、

- ・宮崎県とも縁の深い旭化成株式会社の吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞
 - ・沖縄・首里城が焼失
 - ・大リーグでは、マリナーズのイチロー選手が引退
 - ・中村哲医師がアフガニスタンで武装集団に銃撃されて亡くなる
 - ・2020年1月に国内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認される
- といったようなことが挙げられます。

アフガニスタンで亡くなられた中村哲氏は医師ですが、蔓延する病気の原因は上下水道が整備されていないことにあると考え、医師であるのに技術者として、アフガニスタンの旱魃対策や水道整備事業にご尽力されました。

余談ですが、歌手であり作詞作曲家のさだまさしさんは彼の死を悼んで、『ひと粒の麦～Moment～』という曲を作曲しておられます。また彼は、先月亡くなられた宮崎市の医師柴田紘一郎先生のアフリカでの活躍を『風に立つライオン』という曲で表現しています。いずれも心に響く名曲です。

中村哲先生の業績はたくさんの書籍になっていますし、柴田紘一郎先生の『風に立つライオン』も、本になったり映画になったりしていますので、ぜひ、皆さんも心を磨くために読んでいただくと良いと思います。

さて、そうした社会情勢であった5年前、あるいは7年前、本校に入学した当時の皆さんは、半導体に例えれば、出来立てのまっさらなシリコンウェハース、何もプリントされていない基盤のような状態だったのではないのでしょうか。

本校で過ごす5年間あるいは7年間では、IC部品でいうところのトランジスタやコンデンサや抵抗などのように様々な役割を果たす技術を習得し、メモリーには様々な科学技術に関する知識を格納して頂きました。さらに、これらを回路で繋ぎ、高速で処理するCPUのような能力も備え、そして、思いやりというAIにはない心を搭載し、極めて高性能な集積回路を完成させていただきました。

今、世界では、AIやこれに関連した半導体産業が一世を風靡しています。半導体を例え話しにすると、電気情報工学科の皆さんに向けた言葉のように聞こえるかも知れませんが、機械工学も物質工学も建築学においても、情報技術と結びついて高度に進化しています。いずれもこれからの社会において極めて大切なインフラを支える技術です。

きっと、本校で学んだ知識や技術、そして、本日の卒業、修了までの様々なハードルや苦難を乗り越える経験は、皆さんにとって生涯決して失われることのない力として、皆さんを支えてくれる礎となっています。

また、そうした知識や技術だけでなく、苦勞を共にした友人や、そして、伴走してくれた教職員も皆さんの財産です。ぜひ、本校でたくさんの有形無形の宝物を手に入れたと思ってください。

もちろん今日が人生のゴールではなく、むしろ、新たな人生のスタートであり、大切なことは、今日までの努力で手に入れた宝物をこれからの人生でいかに活かすかということ、また、さらに大きな宝物に成長させるかということです。

おわりに、皆さんの門出の日を送る言葉として、先ほどの中村哲医師の息子さん（中村健さん）が、父から学んだとして語っておられる言葉をご紹介します。それは、「私自身が父から学んだことは、まず、家族はもちろん、人の思いを大切にすること。それから、物事において本当に必要なことを見極めること。そして、必要なことは何でも一生懸命行えばいいということです。」というお言葉ですが、私からも皆さんに同じ思いを送りたいと思います。「まず、ご家族やあなたの周りの人の思いを大切にすること。それから、物事においては本質を見極めること。そして、必要なことはどんなことでも一生懸命行うこと。」確かにこの3つのことは、人が力を合わせて生きる上でとても大切なことだと思います。

皆さんの更なる飛躍を、そして、皆さんのご家族のご多幸を心より祈念して、お祝いの日の告辞といたします。

令和7年3月14日

独立行政法人 国立高等専門学校機構
都城工業高等専門学校
校長 田村 隆弘